第1期全国幼児園優秀園長

高度研究クラスチューター指導要項

教育部幼児園園長研修センター
2014 年 11 月 28 日

共産党第 18 回全国代表大会の精神に則り、『教育部による小中学校校長研修の強化に関する意見』(教師〔2013〕11 号)から、高度な素質をもち、専門化した幼児園園長チームを作り、『教育部による小中学校校長国家研修計画に関する通告』(教師庁〔2014〕9 号)に基づき、「優秀校長(園長)指導プロジェクト」を開始した。教育部の教師仕事司 の許可により、2014 年 11 月 30 日から 2016 年 11 月 30 日の間に、「第1期全国幼児園優秀園長高度研究クラス」(以下「高度研究クラス」)を発足させる。

高度研究クラスの研修対象は、教育部委託の幼児園中核園長「高度研修クラス」と、各省市で開催した幼児園中核園長「高度研修クラス」で研修を受けた園長のみになっている。そして、地方教育行政部門の推薦と教育部幼児園園長研修センターの審査によって最終的に研修対象を決定する。研修生 は就学前教育理論を理解し、専門的理念、知識や能力も大きく向上し、豊かな教育と経営経験を持ち、所属幼児園や当該地域では好評である。しかし、研修生の研究能力はなお向上する余地があり、特に教育経験を概念化する能力が不足していると考える。

第1期高度研究クラスは研修生 32 名、チューターチーム制を行い、1人の研修生に2名のチューターが指導する。

一、チューターチームの指導任務

1. 研修生の「幼児園発展と改善に関する課題研究」について指導する。課題の選択や第1回課題報告、中間論文と最終報告の指導が含まれる。
2. 研修生の「幼児園経営理念」を抽出し、「幼児園の経営理念と管理実践の報告」について指導する。
3. 研修生の幼児園に関する問題について診断・助言し、研修生が「幼児園発展計画(2017-2019)」の制作について指導する。
4. 研修生の学習まとめを読む。

二、指導時間と形式

1. 毎回の集中講義の時、チューターと面談（3-6 時間）。
2. 研修生の自主研修期間中、チューターが QQ 、Email などを使って随時に研修生に指導する。
3. チューターと研修生が一つの「就学前教育研究」QQ グループ に入り、議論する。

三、チューター指導アドバイス

（一）幼児園発展と改善に関する課題研究に関する指導アドバイス

1.課題選択を指導し、特に「幼児園発展と改善のアクションリサーチ」であることに注意する。
2. 規定の様式による第１回課題報告の作成を指導する。
3.中間論文の作成を指導する。論文の構成は、「問題の提出、問題の分析、問題の解決」となることをアドバイスする。
4.規定の様式による最終課題報告の作成を指導する。

（二）幼児園教育理念と実践報告に関する指導アドバイス

1. 議論等の方法で研修生の経営理念を抽出できるように指導する。
2. 「幼児園の経営理念と管理実践の報告書」の作成を指導する。字数は 2 万字以上。

（三）幼児園発展計画に関する指導アドバイス

1.研修生が導出した幼児園発展計画に修正の意見とアドバイスを提供する。研修生はチューターの指導意見とアドバイスを参考に、自身の思考と研修の成果に合わせて、幼児園発展計画を修正する。
2. 計画案の枠組みは以下のパターンを参考にし、字数は 8000 字程度とする。
   発展の現状（歴史、長所、問題、挑戦）
   発展の理念（指導思想、発展の目標、園の経営理念）
   発展の課題（主な課題、重点になる取組み）
   保障の方法（組織、経費、政策、機制など）

（四）学習まとめに関する指導アドバイス

1. 学習まとめの枠組みは以下のパターンを参考にし、字数は 4000 字以上とする。
   学習過程、学習感想、学習アドバイスなど。
2.研修生が研修日記を書くことをリマインドし、学習まとめの作成を準備させる。

（五）名著の読書に関する指導アドバイス

1. 研修生の名著の読書に関する困惑を補助する。
2. 研修生の名著の読書感想文を読む。

以下はチューターと研修生のグループメンバー表になるので、省略させていただいた。

日本語訳：　　呂　小耘
日本語チェック：　児玉　佳一

（2016 年 2 月）